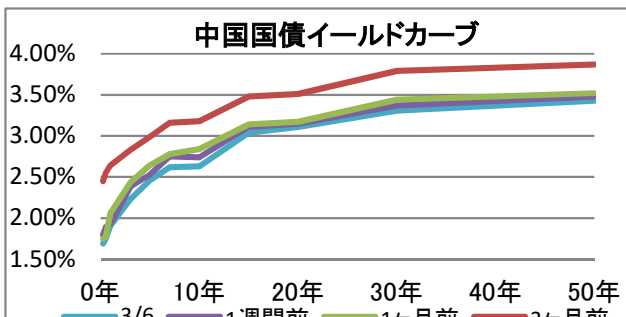
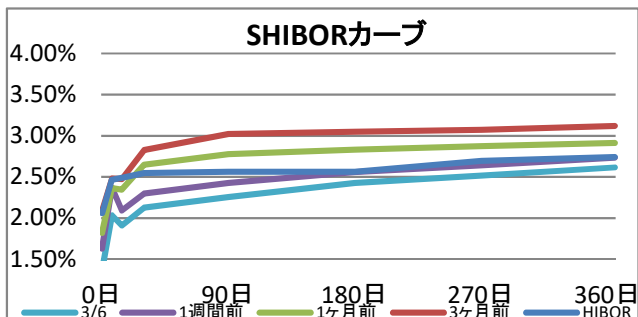


## ①市場概況

基準レート		2020/3/6	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9403	-0.0663
	JPY/CNY	6.4488	0.0569
SHIBOR	3M	2.2580%	-0.1710%
国債利回り	10年	2.63%	-0.11%
上海総合指数		3,034.51	+154.21



### (1) 概況

新型コロナウイルス感染者増加数が中国では減少に転じる一方で中国国外では増加していることから、世界的に株式市場の乱高下が続く、3日にはG7が緊急電話会議により共同声明を出し、米FRBが緊急利下げを行った。しかし、協調利下げではなかったこともあり、新型コロナウイルス感染拡大が続く中で景気に対する懸念を解消できる状況とはならず、株式市場を含む金融市場の動揺が収まることはなかった。外為市場では不安定な株式市場やFRBの利下げによりドル安が進行したことにより、新型コロナウイルスの発生源で経済への影響が大きいと懸念される人民元も買い戻される状況となっており、原油やコモディティの価格も再度下落に転じ、債券利回りも一段と低下している。

### (2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日がなく、金融システム内の資金も十分として新規リバースオペによる資金供給を見送っている。

### (3) 主な経済指標

- ・財新PMI (2月) は、新型コロナウイルスの影響により製造業が40.3 (1月51.1)、サービス業が26.5 (同26.5)、総合で27.5 (同51.9) と、いずれも調査開始以来の最低水準に急落している。製造業では生産、受注に加え、移動制限によるサプライチェーンへの影響や労働者確保の困難さが影響したとされており、サービス業においてもほぼ同様の状況ながら、製造業では受注が積み上っており、移動制限解除による回復が期待されている。
- ・貿易収支 (1-2月) は、70.9億ドルの赤字 (輸出は前年同期比-17.2%、輸入は同-4.0%の減少)。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3620%	1.3700%	1.6276%	
1W	2.0350%	2.3000%	3.5000%	1.7000%
2W	1.9120%	2.2000%	2.5000%	1.7000%
1M	2.1260%	4.0000%	3.6000%	1.9000%
3M	2.2580%	2.7200%	10.0000%	2.1500%
6M	2.4270%	4.1000%		2.3000%
9M	2.5160%	3.3000%	2.6000%	2.3500%
12M	2.6160%	3.4500%	2.6500%	2.4700%

中国人民銀行の金融調節はなかったものの、月内の資金需給は充足されており、利下げと四半期末越え資金供給への期待も高く、ターム物資金の出し手も確認されていることから、金利水準を切り下げながら短期の調整中心の安定した展開が続いている。

NCD市場でも運用側のニーズが一段と高まり、発行市場、流通市場ともに活発な状況が続いている。信用力の高い銘柄を嗜好する傾向が引き続き確認される中、3ヶ月2.10% (前週比-0.25%)、6ヶ月2.30% (同-0.20%)、1年では2.48% (同-0.15%) 程度まで金利水準が低下している。

### (2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	1.15%	1.20%
1W	1.20%	1.25%
1M	1.30%	1.40%
3M	1.40%	1.50%
6M	1.50%	1.60%
12M	1.50%	1.70%

FRBの緊急利下げにより金利水準は低下しているものの資金需給はややタイトな状況が続いており、短期の調整が中心となっている。ターム物は、1ヶ月が利下げ前に1.70%前後、利下げ後に1.30%~1.40%で、3ヶ月が利下げ後に1.60%前後で出合う一方、金融機関別の金利水準格差が拡大している。

### ③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.69%	1.81%	2.14%	2.39%	2.62%
6M	1.75%	1.88%	2.37%	2.45%	2.69%
1Y	1.91%	2.11%	2.48%	2.65%	2.85%
3Y	2.23%	2.40%	2.84%	2.96%	3.29%
5Y	2.46%	2.81%	3.09%	3.25%	3.86%
10Y	2.63%	3.09%	3.62%	3.75%	4.71%

中国の債券利回りは、中国株式市場が比較的安定していたことから金融緩和期待はありながらもやや高止まりしていたが、米FRBの利下げを契機に国外からの資金流入も加わって低下に拍車がかかっている。ただし、市場参加者は信用リスクへの警戒感を高めており、短期のNCDや短期債、国債等を選好する傾向が強く、イールドスプレッドはさらにステイプ化し、クレジットスプレッドも拡大を続ける状況となっている。

### ④ 先物為替市場

	USD / CNY
1W	9.0 / 9.5
1M	49.0 / 50.0
3M	165.0 / 180.0
6M	376.0 / 405.0
9M	615.0 / 630.0
12M	867.0 / 870.0

対ドル基準レートは6.9403と前週末比-663pipsのドル安元高、対円基準レートは6.4488と同+569pipsの円高元安と、FRB利下げによるドル金利低下を映じた設定となっている。市場でも前週からのドル安の流れを受けて6.97台で取引が始まり、FRBの利下げ後に6.92台までドル安が進んだものの、ドル買い需要や人民元高への警戒感もあって6.93台まで戻している。

スワップ幅は、ドル金利低下要因に加えて、高利回りの人民元建て債券への投資需要を背景とする人民元調達ニーズの高まりから大幅に拡大している。

### ⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.15%		1.61%
6M	2.17%	2.31%	1.68%
9M	2.18%	2.35%	1.67%
1Y	2.19%	2.40%	1.75%
3Y	2.31%	2.63%	2.10%
5Y	2.49%	2.87%	
7Y	2.65%	3.04%	
10Y	2.80%	3.22%	

短期資金市場の金利水準低下が続き、債券市場でも利回りが大きく低下していることから、金利スワップの金利水準も引き続き活発な取引を伴って一段と低下。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入